

———— [REPORT] ————

高松桜井トーク×トーク×トーク！

事業報告書

（高松桜井高校における総合的な探究の時間）

特定非営利活動法人わがこと



[目次]

01

事業の概要

事業の目的と背景

02

事業内容

スケジュール、実施体制

03

感想や効果

アンケート結果（高校生、参加者）

04

まとめ

今後の開催に向けて



01

事業の概要

事業の目的と背景

【 事業の概要 】

本事業のきっかけ

高松桜井高校の先生より

- 大学進学者が多い中で、出口となる「仕事」や「働く」ということを知り、2年生進学時の文理選択や進路選択に活かしてもらいたい
- そのために、地域の方にもご協力いただけないか

とのご相談がきっかけでした。



授業実施の目的



仕事を知り、進路選択(文理選択・学部選択等)の参考にする



多くの大人との対話を通して、コミュニケーション能力の育成を図る



地元企業・地域のことを知り、地域への愛着を持つきっかけにする

02

事業内容

スケジュール、実施体制



[事業内容]

高松桜井トーク×トーク×トーク！

令和7年10月22日（水）14：00～16：30（授業2時間分）

香川県立高松桜井高等学校 各教室（1階、2階）

対象者 1年生280名

参加者 地域企業の経営者、社員、個人事業主、団体職員、公務員、社会人学生等 合計45の企業や団体等より60名

主催 香川県立高松桜井高等学校

協力 特定非営利活動法人わがこと

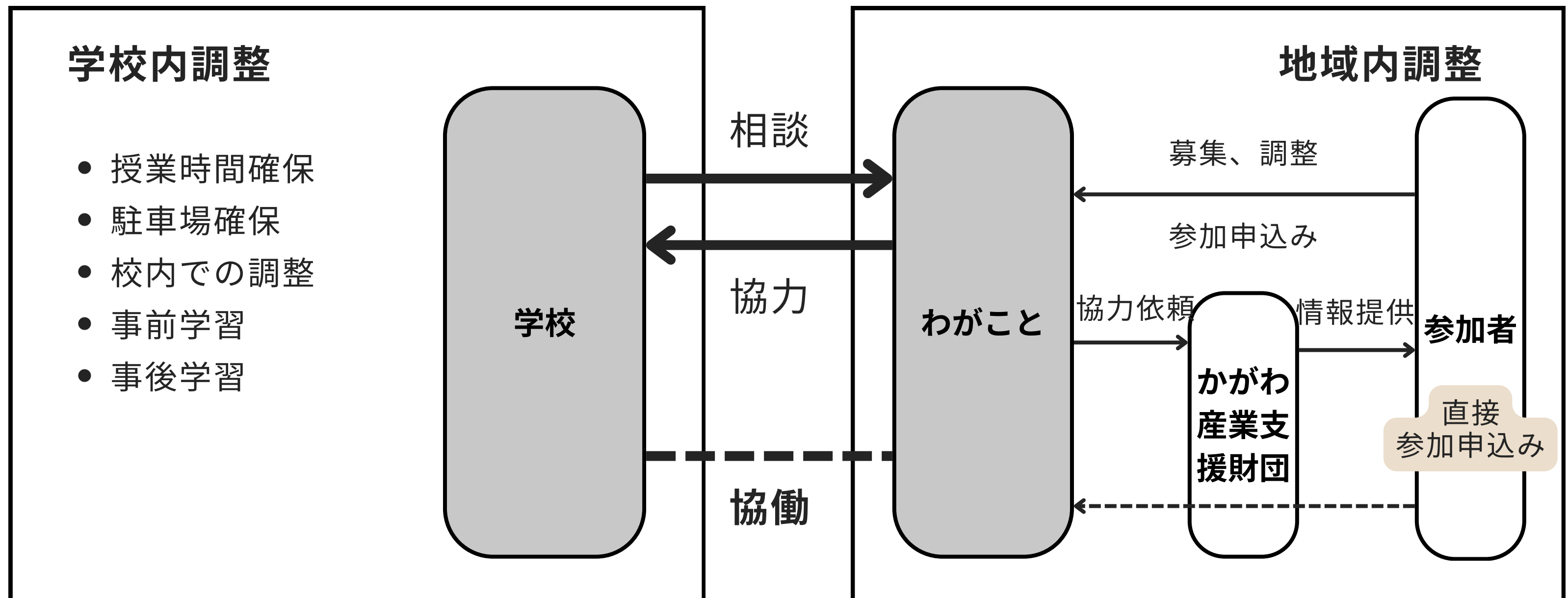
公益財団法人かがわ産業支援財団

[全体スケジュール]

時期	内容	
令和5年10月	先生より「総合的な探究の時間」について別件でご相談あり。(医療従事者の授業協力者を紹介)	
令和6年11月13日	高松桜井トーク×トーク×トーク初開催、次年度も開催決定	
令和7年3月～5月	学校内調整	団体内調整
	日程確定、来校者の扱い、当日の流れ等の見直し	実施体制の確認
令和7年6月～9月	企画書作成、生徒の事前準備	企画書調整、協力団体への調整依頼、産業支援財団への協力依頼、参加者募集、参加者管理、事前説明会開催（オンライン）、プレスリリース作成、投げ込み
令和7年10月 ＜実施月＞	生徒の質問確認、当日の校内体制調整、駐車場等校内周知、当日のタイムキープ準備（録音音声）	当日進行確認、名簿作成・共有（わがこと→学校）、当日用ネーム作成、席順調整（グループ分け）、直前案内、問い合わせ対応
令和7年11月	アンケート結果共有（学校→わがこと）、振り返り学習	報告書作成、報告書共有（わがこと→学校、参加者、協力者、関係機関等）

[事業体制]

役割分担と参加者募集体制



03

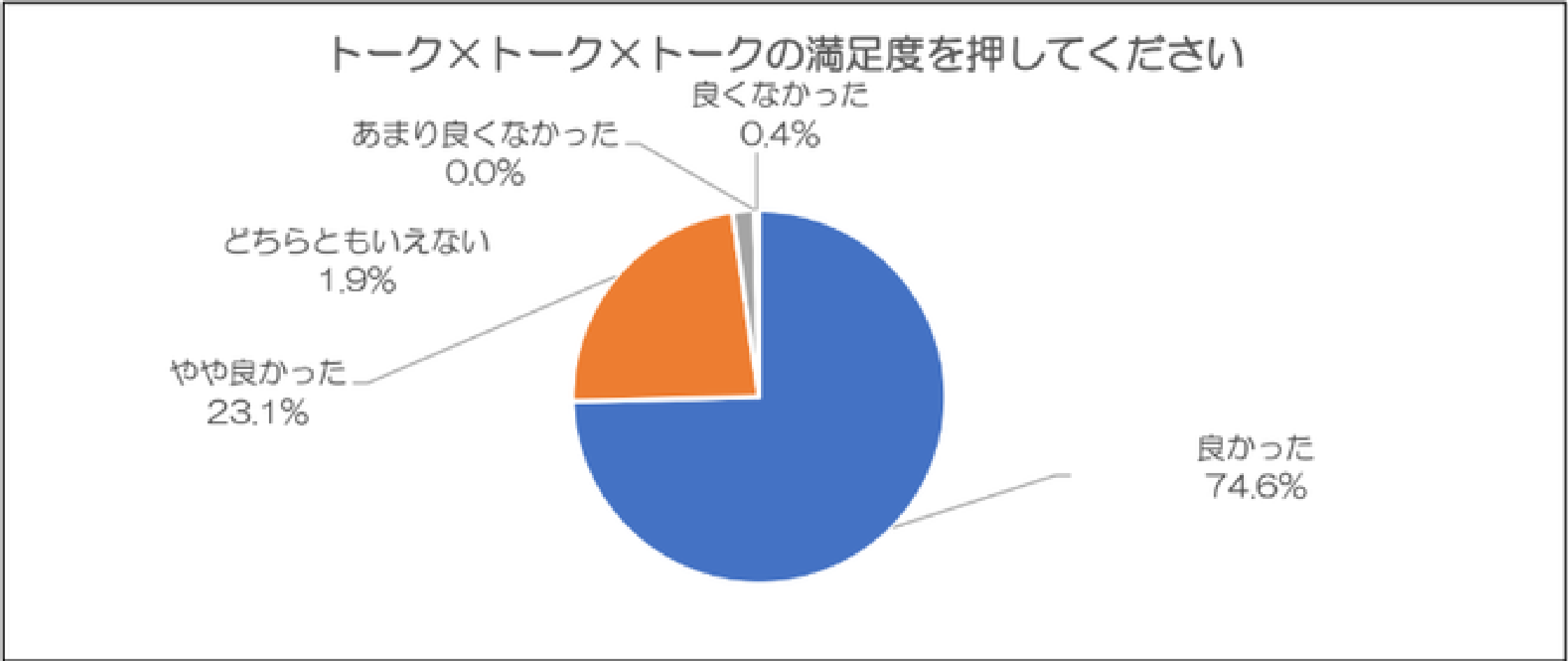
感想や効果

アンケート結果（高校生、参加者）

【生徒】の事後アンケートの結果（学校実施）

問1. トーク×トーク×トーク満足度を教えてください。

良かった	197
やや良かった	61
どちらともいえない	5
あまり良くなかった	0
良くなかった	1
合計	264



感想や効果

各満足度のフリーコメント（AI要約済み）

◆「良かった」と答えた人の意見

1 多様な職業・社会人の話を聞いた

- 普段接することのない社会人や様々な職業の方と直接話せた
- 幅広い業種や働き方を知ることができた
- 現役で働く人のリアルな体験談を聞いた

2 視野が広がった・新しい価値観を得た

- 自分の知らなかった世界や考え方に触れられた
- 多様な人生観や選択肢を知り、視野が広がった
- 新しい発見や「なるほど」と思える学びがあった

3 進路・将来の参考になった

- 文理選択や進路選択に役立つ情報を得られた
- 将来の職業や生き方を考えるきっかけになった
- 高校時代の勉強法や学生生活の過ごし方を知れた

4 質問や交流の機会が充実していた

- 質疑応答が丁寧で、聞きたいことをしっかり聞いた
- 多くの大人と直接会話でき、楽しかった
- 普段できない貴重な体験を得られた

5 実践的なアドバイスや体験談が役立った

- 社会で大切なことや心構えを学べた
- 勉強方法や息抜きの仕方など、実生活に役立つ情報を得た
- 将来に向けてモチベーションが高まった

◆「やや良かった」と答えた人の意見

1 多様な職業や人生観に触れられた

- いろんな職業や生き方を知ることができた
- 普段聞けない話や価値観に触れられた
- 新しい仕事や取り組みを知ることができた

2 将来や進路を考えるきっかけになった

- 自分の将来について深く考える機会になった
- 文理選択や進路決定に役立つヒントを得られた
- 今後やるべきことや必要な能力を知ることができた

3 実践的なアドバイスや情報を得られた

- 社会に出て必要なスキルや心構えを学べた
- コミュニケーション力向上のヒントを得た
- 高校生活や大学進学に関する具体的な情報を得られた

4 貴重な交流機会だった

- 様々な社会人と直接話せたことが新鮮だった
- 普段の授業では得られない体験ができた
- 質問に的確に答えてもらえた

5 改善点(時間や質問機会の不足)

- 話す時間が短く、質問できない場面があった
- 一部、期待していたテーマ(文理選択など)が少なかった

[感想や効果]

各満足度のフリーコメント（AI要約済み）

◆「どちらともいえない」「良くなかった」と答えた人の意見

1 時間不足・交流機会の制限

- 話す時間が短く、十分な交流ができなかった
- 質問できる時間が限られていた

2 質問や回答に関する不満

- 緊張して質問できなかった
- 質問に対して「わからない」と返されたことがあった

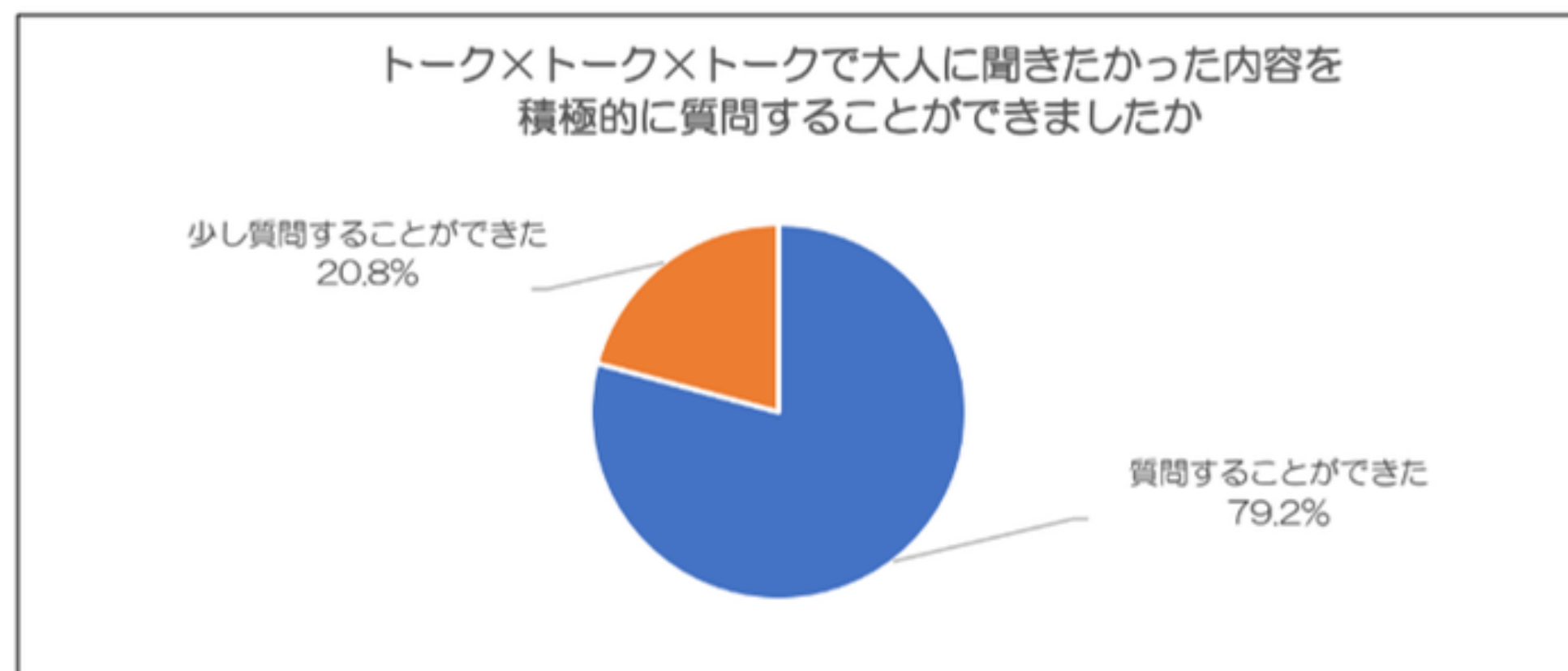
3 内容の不足・期待とのギャップ

- 職業に関する説明がほとんどなく、学びが少なかった
- やりたい仕事や興味を持てる仕事がなかった
- 一部テーマが期待と異なり、参考にならなかった



問3. トーク×トーク×トークで大人に聞いたかった内容を積極的に質問することができましたか。

質問することができた	209
少し質問することができた	55
質問できなかった	0
合計	264



感想や効果

問4.その理由を記入してください。(生徒の回答を AI で分析)

◆「質問することができた」と答えた人の意見

1 話しやすい雰囲気・フレンドリーな対応

- 大人の方が優しく、話しやすい雰囲気を作ってくれた
- 「質問ありますか?」と促してくれた
- 会話をリードしてくれる人がいた

2 質問時間や機会が十分にあった

- 質問する時間が設けられていた
- 休み時間や交代制で質問できる仕組みがあった
- 質問の時間に余裕があった

3 事前準備ができていた

- あらかじめ質問を考えていた
- メモやお題カードを使って質問内容を整理していた
- グループで質問を分担していた

4 興味・関心が高かった

- 話の内容が興味深く、自然と質問が浮かんた
- 将来や進路に関する疑問が多かった
- 職業や人生経験に関心があり、もっと知りたいと思った

5 積極的な姿勢

- 自分から質問する意欲があった
- 他の人が質問しない時に率先して質問した
- 疑問を解決したいという強い気持ちがあった

◆「少し質問することができた」と答えた人の意見

1 質問時間や機会があったが不足感あり

- 質問時間は設けられていたが、全ての質問をするには時間が足りなかった
- 一つの質問に時間をかけすぎて他の質問ができなかった
- 時々時間切れで質問できない場面があった

2 事前準備はあったが活用に限界

- あらかじめ質問を考えていたが、それ以外の質問が思いつかなかった
- 用意した質問ばかりで深い話ができなかった
- 質問カードやシートを使ったが、柔軟な対応が難しかった

3 緊張や遠慮による制約

- 初対面で質問するタイミングが取りづらかった
- 緊張して質問が思いつかないことがあった
- 他の人に配慮して自分中心にならないようにした

4 興味や関心はあった

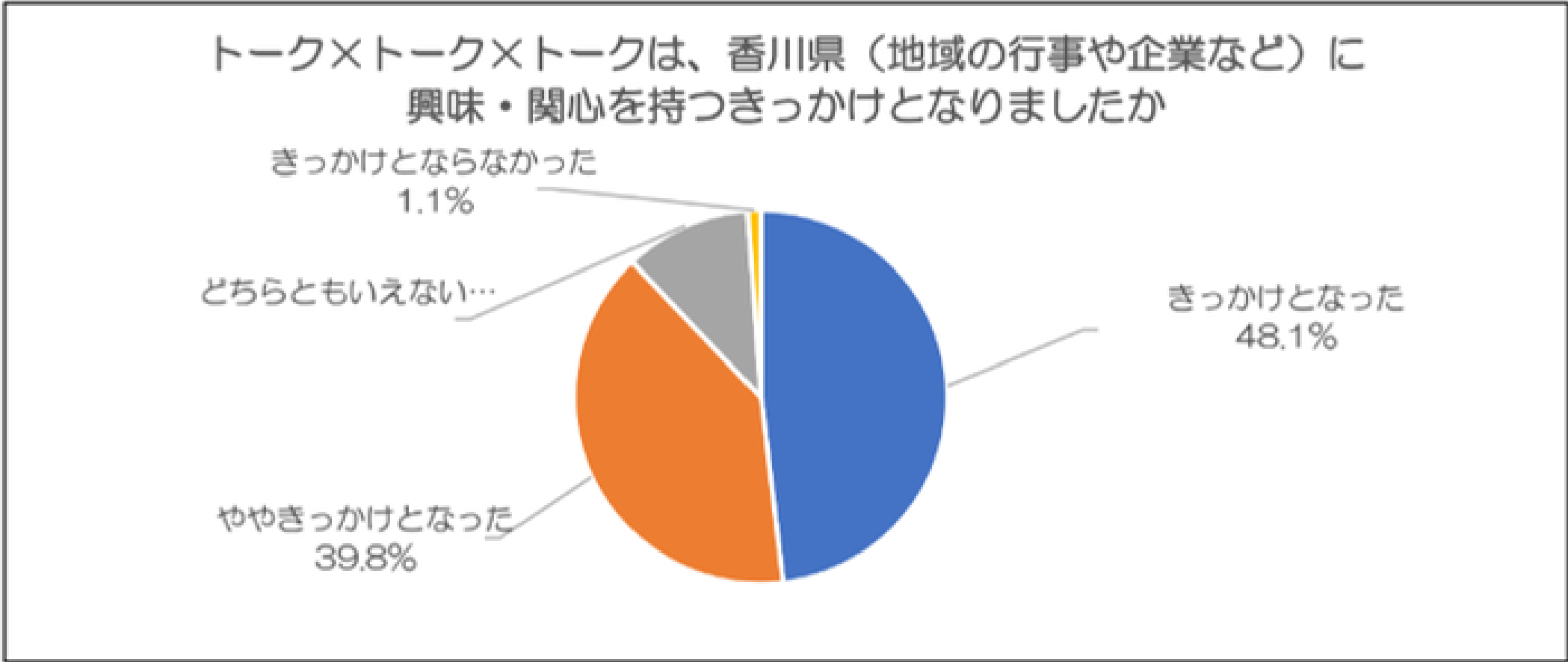
- 興味のある話題には質問できた
- 将来や進路に関する質問はできた
- 職業や仕事内容に合わせて質問を工夫した

5 質問の質や量に対する反省

- 質問が無難で、もっと踏み込めばよかったと感じた
- 3つの質問だけでなく、もっと多く考えておけばよかった

問 5. トーク×トーク×トークは、香川県（地域の行事や企業など）に興味・関心を持つきっかけとなりましたか。

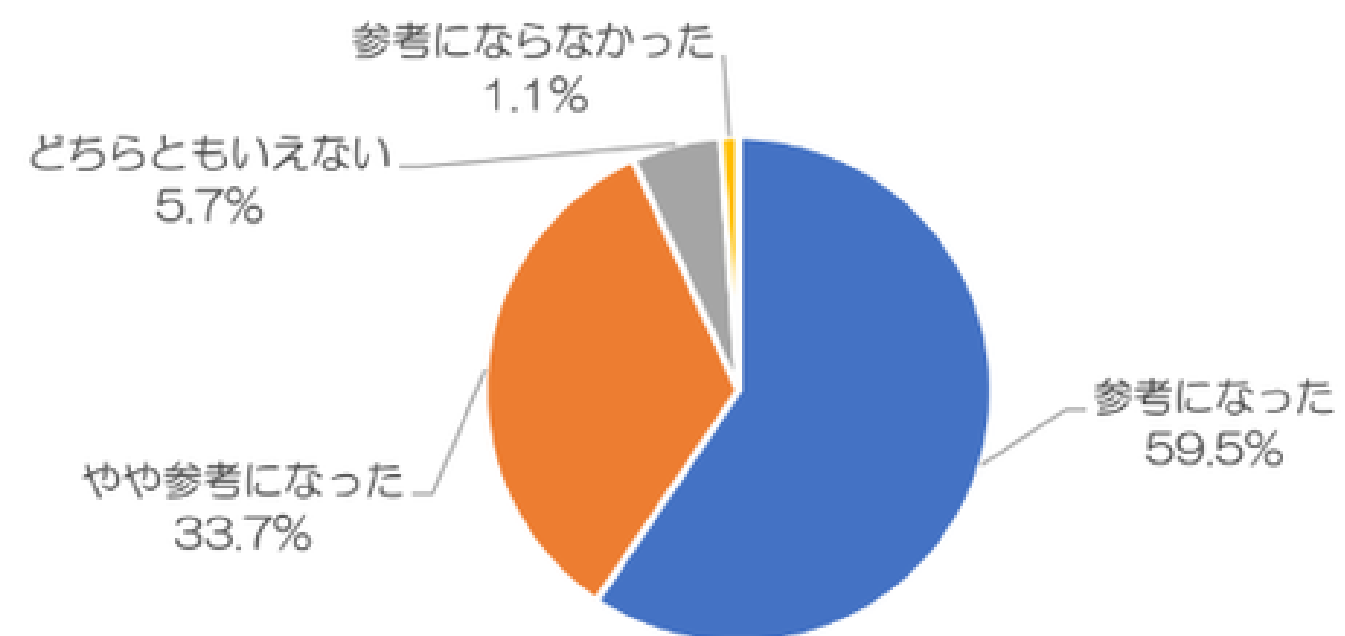
きっかけとなった	127
ややきっかけとなった	105
どちらともいえない	29
きっかけとならなかった	3
合計	264



問6. トーク×トーク×トークは進路選択の参考になりましたか。

参考になった	157
やや参考になった	89
どちらともいえない	15
参考にならなかった	3
合計	264

トーク×トーク×トークは、進路選択の参考になりましたか



感想や効果

問7.その理由を記入してください。(生徒の回答を AI で分析)

◆「参考になった」と答えた人の意見

1 文理選択や大学選びに関する具体的情報

- 文理選択が職業に直結することを知れた
- 文理選択や大学選びのメリット・デメリットを詳しく聞いた
- 文理選択の方法や決め方を学べた
- 大学で学ぶことが将来どう生かされるかを知れた

2 多様な進路・職業の選択肢を知れた

- 知らなかった職業や業種を知ることができた
- 大学進学以外に専門学校や高卒などの選択肢があることを知った
- 職業の幅広さを実感し、選択肢が増えた

3 実体験に基づくアドバイス

- 大人の方々の高校時代や進路決定の体験談を聞いた
- 文理選択や進路選択で後悔したことや成功したことを知れた
- 浪人や進学のリアルな話を聞いて勉強の重要性を理解した

4 自分の価値観や考え方が広がった

- 「好きなこと」「得意なこと」を軸に選ぶ重要性を学んだ
- はっきりした夢がなくても挑戦してよいと知れた
- 自分のペースで選択してよいという安心感を得た
- 視野が広がり、進路に対する不安が軽減された

5 将来のイメージが明確になった

- 自分の目指す職業に近い人の話を聞いた
- 仕事内容や必要なスキルを具体的に知れた
- 将来のために今やるべきこと(勉強や経験)が分かった

◆「やや参考になった」と答えた人の意見

1 文理選択や大学に関する情報を得られた

- 文理選択や大学選びの話を聞いた
- 文理選択は難しく考えなくてよいと知れた
- 大学で学ぶ内容や学部選びのヒントを得られた
- 文理選択の基準(得意科目より興味を優先)を学べた

2 多様な進路や職業を知ることができた

- 知らなかった職業や企業の話を知れた
- 多くの職業や進路パターンを知り、選択肢が広がった
- 転職やキャリアチェンジの事例を知れた

3 実体験に基づくアドバイス

- 高校生活や受験の体験談を聞いた
- 「一度選択を間違えても巻き返せる」と知れた
- 若いうちに挑戦することの重要性を学んだ

4 自分の考え方や価値観に影響

- 「興味のある方に進むべき」という考え方を学んだ
- あまり悩みすぎなくてよいと知れた
- 香川で働く魅力や地域の可能性を再認識した

5 将来のイメージや行動のきっかけ

- 将来像を想像しやすくなった
- 自分の進路について考えるきっかけになった
- やりがいを持てる仕事を選びたいと感じた

感想や効果

問7.その理由を記入してください。(生徒の回答を AI で分析)

◆「どちらともいえない」「参考にならなかった」と答えた人の意見

1 情報の関連性が低かった

- 今の仕事と大学で学んだことが関係していない人が多かった
- 進路というより人生観や抽象的な話が中心だった
- 職業や仕事内容の説明がほとんどなかった

2 自分の状況と合わなかった

- すでに進路が決まっていたため参考にならなかった
- 興味のある職業や分野の話がなかった
- 理系の話が多く、自分の希望と異なっていた

3 情報不足・期待とのギャップ

- 大学や仕事の詳細をもっと知りたかった
- 聞きたいことが十分に聞けなかった
- 内容が抽象的で具体性に欠けた

4 職業選択に関する有効性が低いと感じた

- 文理選択はあまり関係ないという意見が多かった
- 大学受験や文理選択を経験していない人もいた



【 感想や効果 】

問8. トークの中で一番印象に残った内容は何ですか。(生徒の回答を AI で分析))

1 高校時代・学生時代にやるべきこと

- 高校生のうちに様々な経験をして視野を広げることが大切
- 勉強だけでなく部活や趣味にも全力で取り組む
- 高校時代にしかできないことを楽しむ
- 海外留学や挑戦を積極的にするべき

2 キャリア・進路選択に関するアドバイス

- 文理選択や大学選びの考え方(「どこに行くかではなく何をすることが大切」)
- 好きなことを仕事にする際の現実と工夫
- 資格取得や専門職への挑戦(看護師、建築士、FP など)
- 「やりたいことは名詞ではなく動詞で考える」など進路決定のヒント
- 将来の夢は一つに絞らず柔軟に考える

3 コミュニケーション・人間関係の重要性

- 社会で信用される人になる方法
- コミュニケーション能力はどの分野でも必須
- 人間関係で敵を作らないこと、相手を思いやることが大事
- 採用試験では自主性や協調性が重視される

4 挑戦・起業・仕事のやりがい

- 借金をして起業し、成功した話
- 家業や地域の店を復活させた事例
- 自営業やフリーランスの働き方
- 「何でもできる場所を作る」など新しいビジネスモデル
- 経営のコツや仕事のやりがいについて

5 人生観・価値観に関する話

- 「正解はない、みんなで作り出すもの」
- 「今しかできないことを後悔しないようにやる」
- ハプニングは人生のエンターテインメント
- 「やめることは明日でもできるから今日は頑張る」
- 失敗を恐れず挑戦し、失敗を学びに変える
- 自分の強みや魅力を見つけることが重要

6 地域・社会貢献

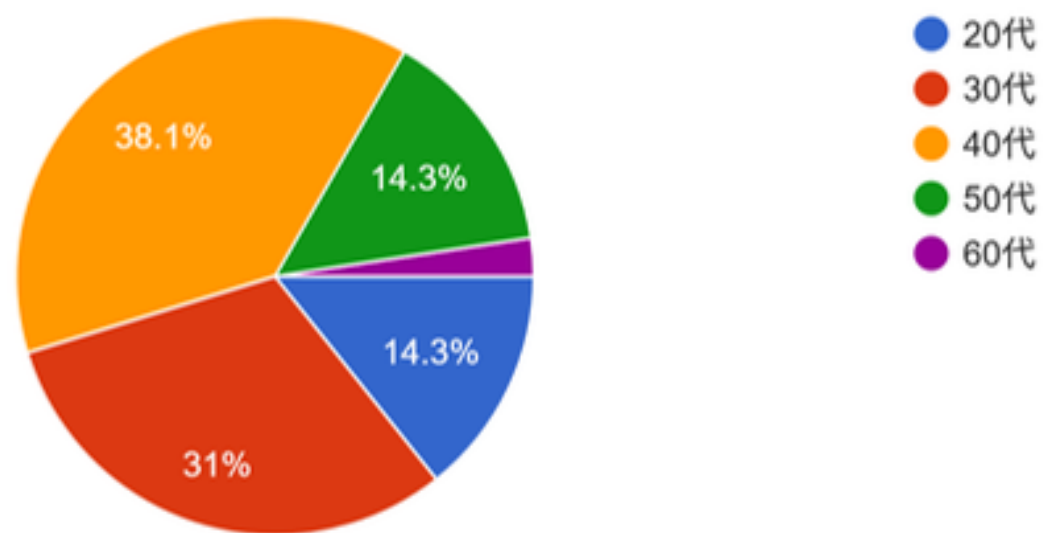
- 地元に戻って働く理由と意義
- 地域のボランティアや障がい者支援
- 球団や地域イベントを盛り上げる活動

7 実務・専門知識の話

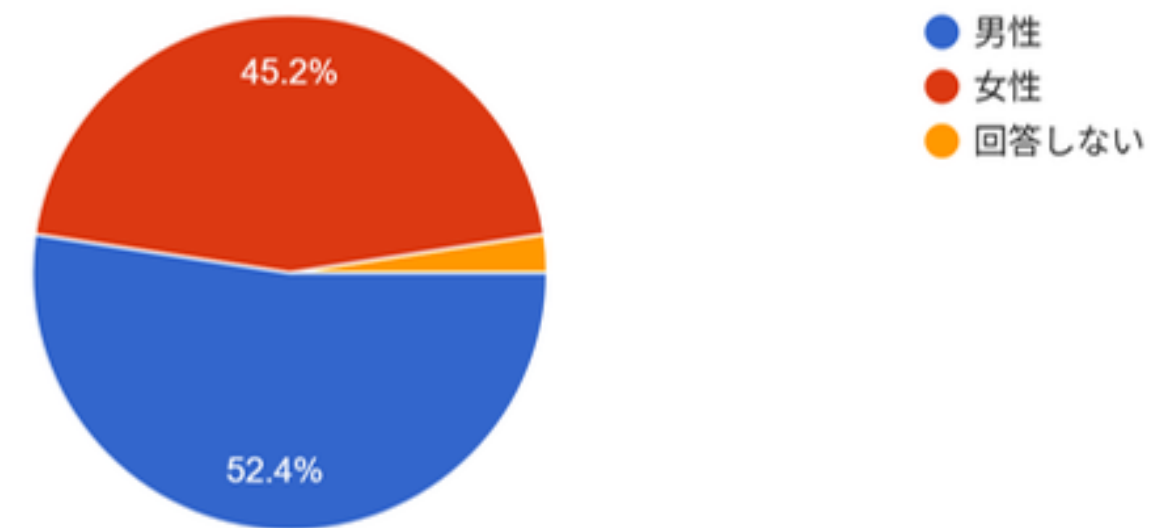
- 医療現場での経験談(患者との関わり)
- 建築やデザインの実務の難しさ
- 法律や保険、金融に関する知識
- 教育現場での新しい取り組み
- 障がい者支援や地域貢献の取り組み

【参加者】の属性（わがこと実施、N=42）

年齢
42 件の回答

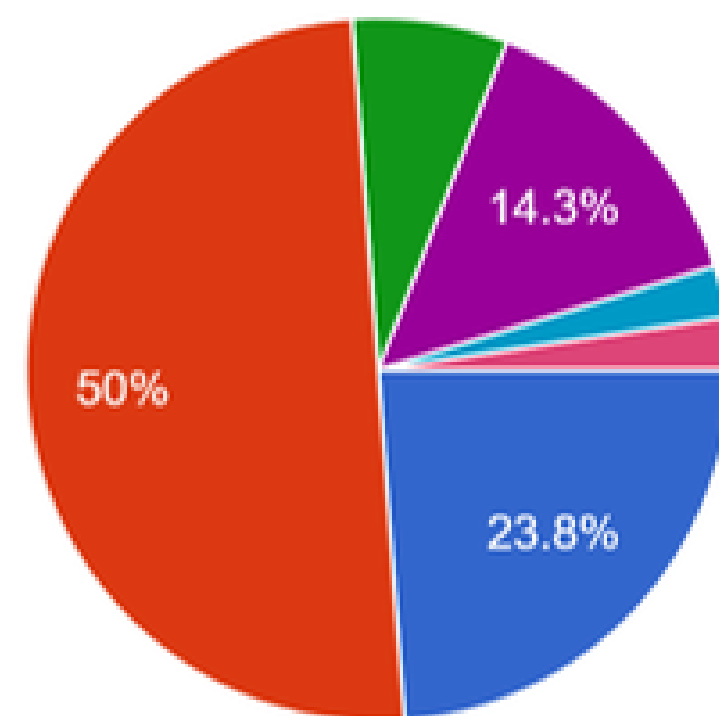


性別
42 件の回答



【参加者】の属性（わがこと実施、N=42）

所属と役職
42 件の回答

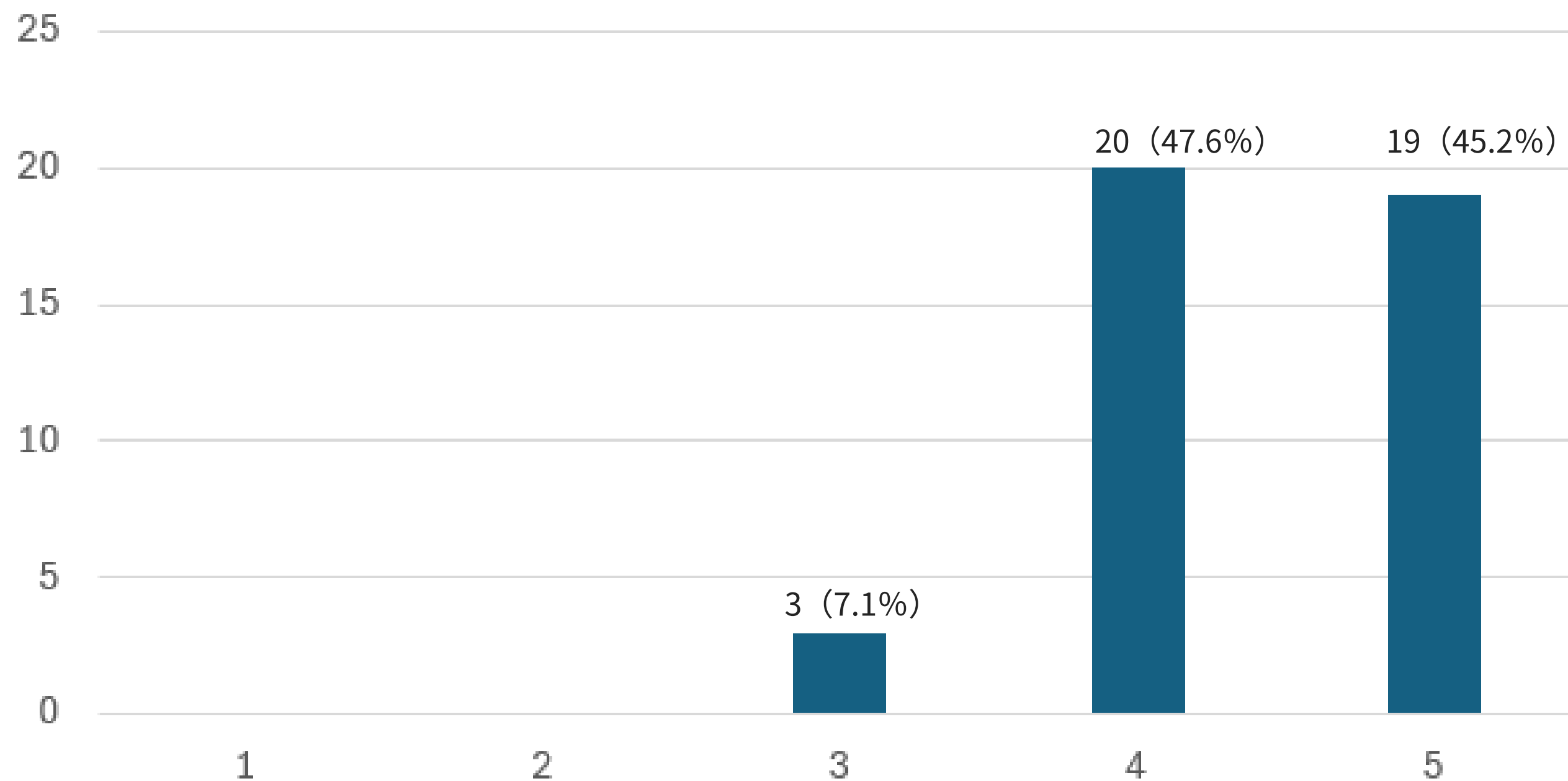


- 企業経営者
- 企業社員
- 各種団体代表
- 各種団体職員（公務員含む）
- フリーランス
- NPO、市民団体、ボランティア
- 個人事業主（≠フリーランス）

【参加者】の事後アンケートの結果（わがこと実施、N=42）

【Q1】 企画の総合的な満足度を5段階評価で教えてください。（5=大満足、1=不満足）

42件の回答



満足度のフリーコメント（AI要約済み）

1.相互作用が生み出す対話の楽しさ

生徒が「とても素直で前向き」「真剣に話を聞き、積極的に質問してくれた」姿が印象的であり、「こちらが元気をいただくことができ、本当にありがたかった」と、大人側も対話から活力を得たことがわかりました。参加者個人の満足度が非常に高く、双方にとって好影響を与える素晴らしいイベントだと評価されています。

2.「惜しい」が残る時間配分

「（時間が伸びたが）やはり短くは感じました」「しかし、『ちょっと惜しいな』くらいだったので、今回くらいの配分がちょうど良いのかもしれない」と、時間設定が課題と満足の境界線にあるという分析も見られました。

3.大人自身が「自分ごと」として得た学び

「高校生の素朴な質問や悩みを聞いて学生時代を思い出しました」「いつのまにか乗り越えることができていたと気づき、明日からも頑張ろうという気持ちにもなりました」と、前向きな刺激を受けたという効果も報告されました。

4.貴重な「地域と次世代」を結ぶ交流の意義

「若者にとって意味のある経験だと思う」「普通の高校生が親以外の大人から仕事や学業などを聞ける機会は少ないため、大変良い企画」と、企画の根幹にある交流の価値が改めて高く評価されました。

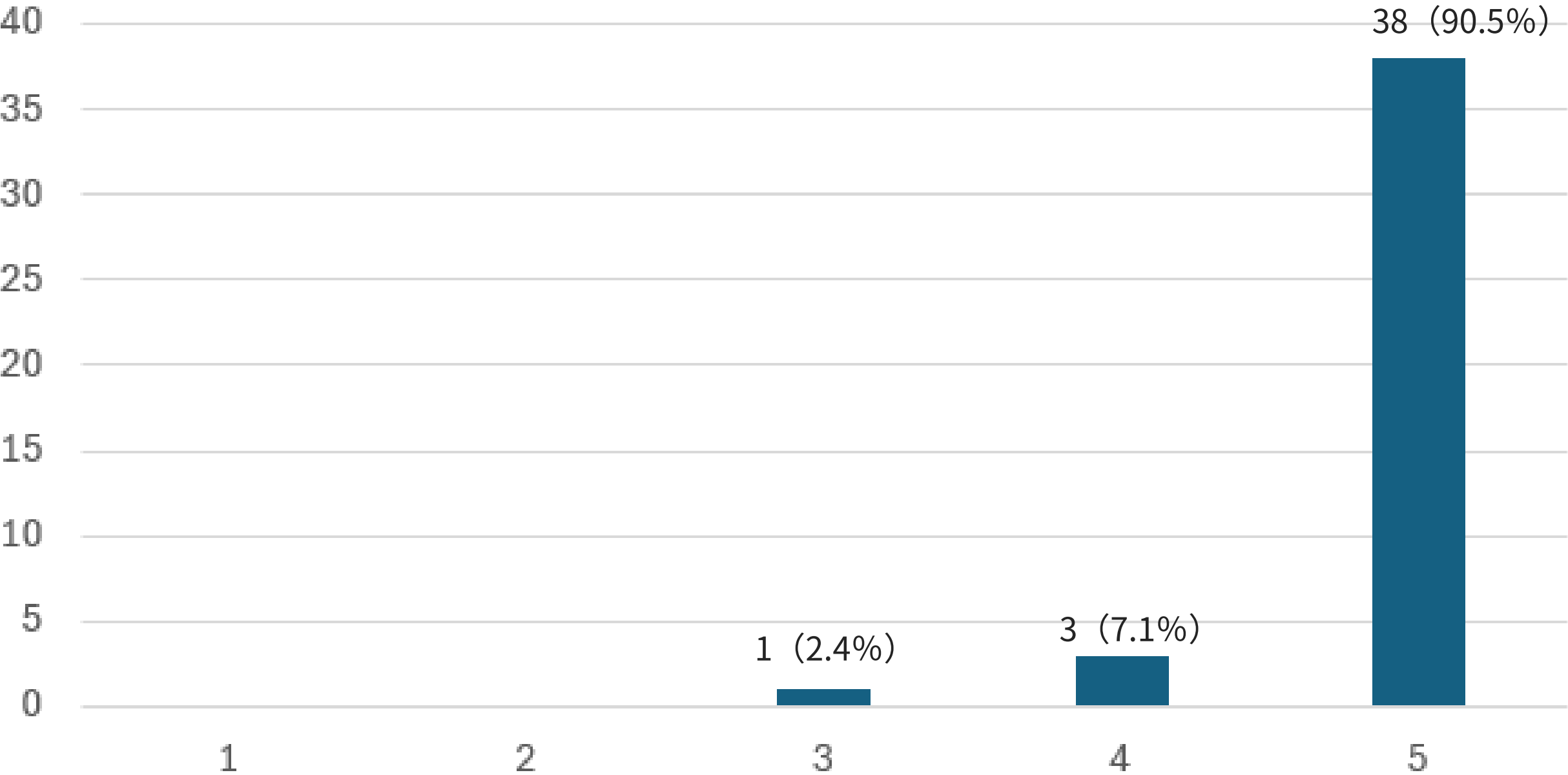
5.課題克服と「対話の質」向上への具体的な期待

「主語を自分にして、私は〇〇だと思うのですが、いかがでしょうか？」といった質問の練習をしてほしい」と、生徒の質問の質に対する具体的な要望が挙げられました。

【参加者】の事後アンケートの結果（わがこと実施、N=42）

【Q2】このような機会は【高校生】にとって必要だと思いますか？必要だと思う度合いを5段階評価で教えてください。（5=とても必要、1=不要）

42件の回答



【 感想や効果 】

【高校生】 にとっての必要性に関するフリーコメント（AI要約済み）

1. 進路選択における視野の拡大と「生の声」の価値

様々な業種・職種の大人と話すことで将来の選択肢がぐっと広がった、インターネットの情報だけでは得られない「生の声」や「社会人の想い」を聞く体験は、進路や仕事のイメージを具体化し、将来設計の幅を広げる良いきっかけになると認識されました。

2. コミュニケーション機会の確保と多様な大人との接触

「学校の先生やご両親以外の"大人"と接する機会が極端に少ない」ため、普段出会うことのない多様な大人と話すことに価値があると評価されました。大人と対面で言葉を交わすことで、テキストコミュニケーションでは得られない経験となり、今後の人生において重要な「視座、視点、視野の広がり」を感じる機会になるとされています。

3. 生徒にとっての安心感とモチベーション

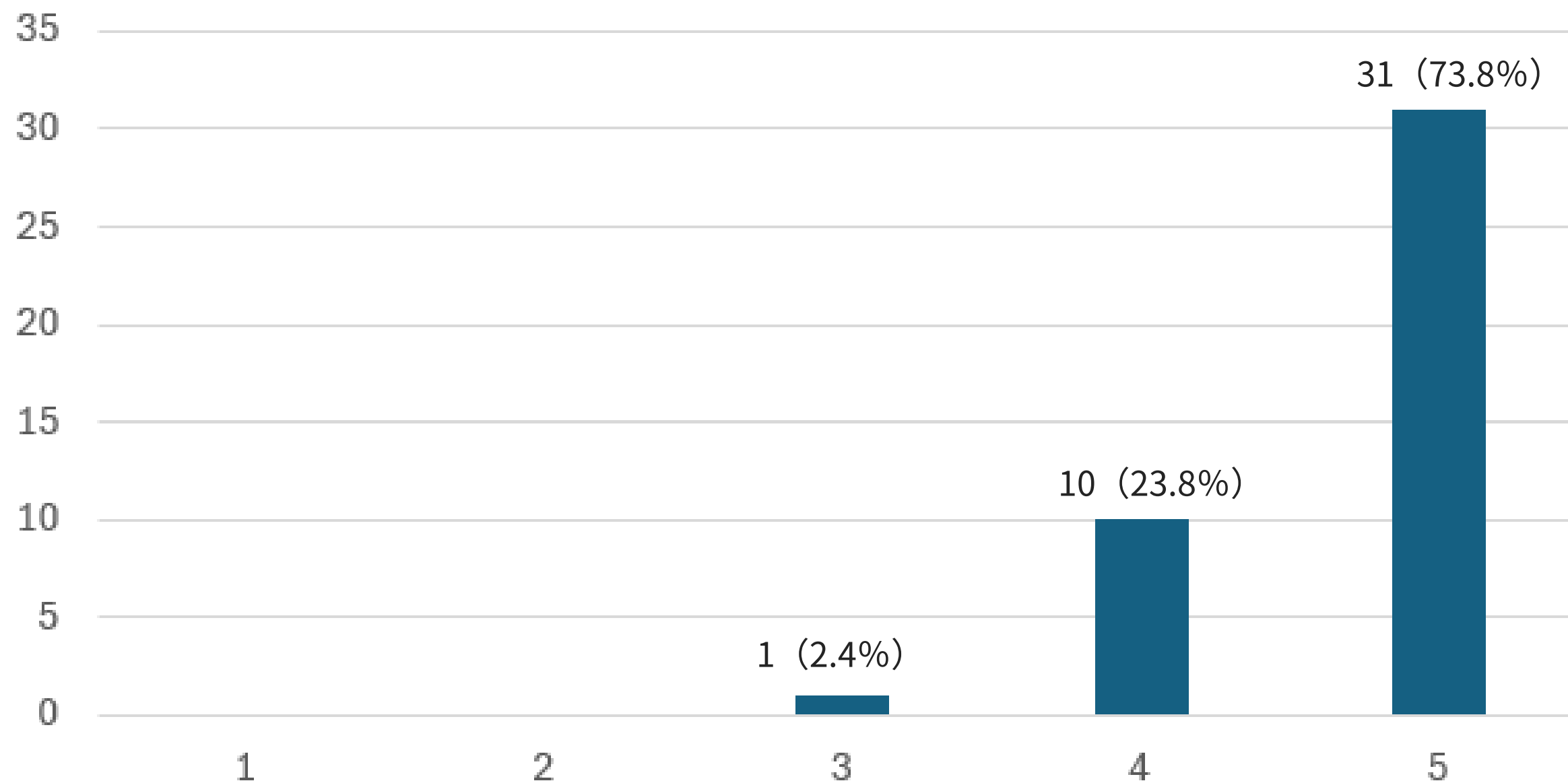
高校生が陥りがちな「自分の進む道を『正解探し』してしまいがち」な時期に、大人のリアルな話を聞くことで「正解は一つじゃない」「遠回りもあり」だと気づくきっかけになったのではないかと評価されました。

「地方でも楽しく生きている大人の姿を学生達に見せることが、地元に戻りたい、地元で生きたい、と思えるきっかけになる」と、地域愛着を持つ上でも重要な役割を果たすと期待されています。

【参加者】の事後アンケートの結果（わがこと実施、N=42）

【Q3】このような機会は【大人、企業】にとって必要だと思いますか？必要だと思う度合いを5段階評価で教えてください。（5=とても必要、1=不要）

42件の回答



【 感想や効果 】

【大人、企業】 にとっての必要性に関するフリーコメント（AI要約済み）

1. 自己成長とキャリアの再認識（個人への効果）

高校生からの質問を通じて、「自分の人生を振り返る良い機会」「仕事、生き方などを考え直す、整理する機会」となり、「初心を思いだす」ことができる貴重な時間と認識されています。また、「大人・企業の自己肯定感を爆上げできる素晴らしい機会」であり、「もう一度新たな気持ちでやり直そうと思えた」など、大人側が精神的な刺激とモチベーションを得ています。

2. 若者・時代背景の理解（組織・経営への効果）

「最新の学生をきき、時代に沿った会社を築く要素にしていきたい」という意向や、「学生がどのようなことに悩んでいるのかを知ることで、不安を取り除けるような会社づくりができるようになる」など、企業経営や組織作りへの具体的なヒントを得ています。

「我が子以外の『若者』の考えを知る」ことで、世代間のギャップを理解し、価値観の違いを知ることもできました。

3. 地域・未来への貢献（社会的な意義）

未来の担い手である若者と対話することは、「地域や産業の持続可能性を考える上でも非常に意義がある」と強く感じられています。「こういう機会を提供することは、大人の責務だと思う」という認識があり、「次の世代に地域の魅力を伝える」意識が高まると感じられています。

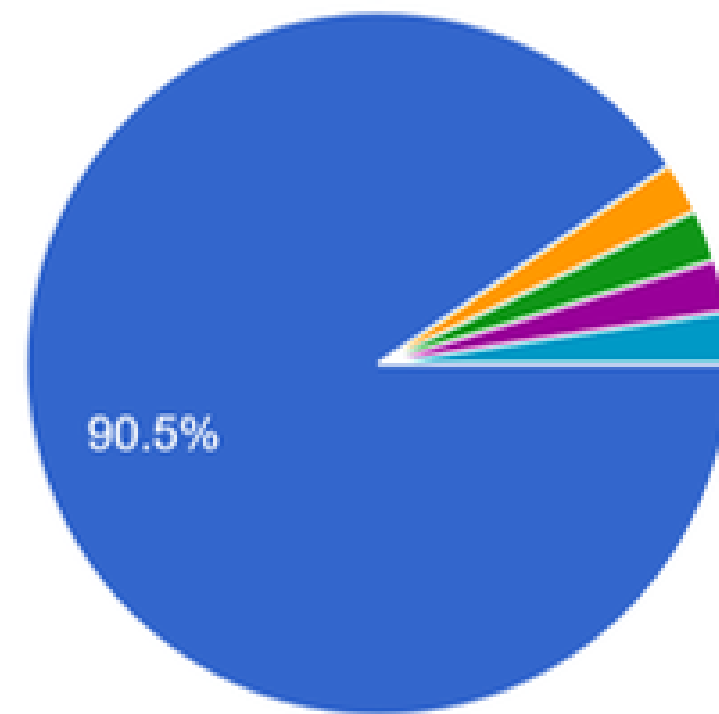
また、地元にある自社の仕事の現状を知ってもらうことや、企業のPR、リクルートへの布石（BtoB企業など）として意義があるとされています。



【参加者】の事後アンケートの結果（わがこと実施、N=42）

【Q4】次回があれば参加したいですか？

42 件の回答



- 参加したい
- 今回だけでいい
- 予定が合えば
- まだ参加したことのない人に参加してほしいので、自分は今回だけでいい。
- カリキュラムの見直しがあれば参加したい。
- 高松桜井高校は母校のため、高松桜井高校にて実施の際は卒業生として後輩の役に立つのであれば参加したいと思いま...

満足度のフリーコメント（AI要約済み）

1. 授業の評価と大人側の気づき

多くの大人が「非常に意義ある企画でした」「最高の企画ありがとうございました！とても楽しい時間でした！」と高い満足度を示しました。

高校生の「素直なリアクション」「まぶしいほどのエネルギー」「真剣にメモを取りながら耳を傾けてくれる姿勢」に感心し、「こちら也大いに刺激を受けた」という、相互作用による効果が強調されました。

生徒との対話は「過去の自分にそう言い聞かせている様ですごく充実した時間」であり、「初心や今の仕事への想いを振り返る良いきっかけ」になったと、大人の学びの場としても機能したことが評価されました。

2. 運営・形式に関する具体的な要望

同じ質問が重なるため、「完全なフリートーク形式にするか、『大人にこれを聞きたい』といったテーマごとにグループ分け」をする案が提案されました。また、トーク終了後に「生徒と自由に話ができるアフタートークの時間が1分でもあると嬉しい」という要望もありました。

3. 高校生へのメッセージ：キャリアと人生のアドバイス

大人の参加者からは、進路に悩む高校生への温かく、かつ現実的なメッセージが多く寄せられました。

「自分の好きを見つけて楽しくやれる職業を探してください」「仕事も勉強も『自分が面白いと思えること』を大切にしてい」「『正解』を探すより、『納得できる選択』を重ねて」といった、自己の価値観を重視するよう促すメッセージが中心でした。

親世代の「良い大学にいった安定した仕事に就く」という価値観だけでなく、「そうではない生き方もあること」を知ってほしいと伝えられました。また、特に女子生徒に対しては、資格取得だけでなく「女の子のライフステージによることの方考え方」など、人生全体を見据えた視点が共有されました。

「失敗したらやり直せばOK！やり直しがきかないことは意外と少ない」「たくさんの人、色んな世界に接して、自分が大切にしたい『軸』を見つけて」と、恐れず多様な経験を積むよう応援する言葉が贈られました。

【 SNSから見る、【参加者】の感想や気づき 】



Npo 法人わがこと

10月22日・🌐

＼【高松桜井トーク×トーク×トーク！】が開催されました／

昨年に引き続き、香川県立桜井高校の総合的な探究の時間のコーディネートを行いました！

1年生280名に対して、様々な働き方をしている大人約60名にご協力いただき、「仕事について」「働き方について」「生き方について」などの対話をした、2時間の授業でした。

出会うこと、知ること、話すこと。

ネットでなんでも調べられる時代だからこそ、リアルの繋がりが大切なのかもしれません。

そして、ネットの世界では、自分の興味があること、関心が高いことが、勝手に選ばれて、自分のところに届いてしまうからこそ、色んなキャリアの大人と対話することで、自分の将来の選択肢を、自分が思い描いている以上に、広げるきっかけになるといいなとも感じました。

知らない職業、知らない働き方、知らない考え方、に、この授業を通して出会ってくれていたら、嬉しいです。

最初は緊張していた高校生たちも、熱く語ってくれる大人たちとの対話の中で、自分たちの気になることや考えていることを色々と質問することができ、お互いにこの時間を楽しんでいる様子がとても印象的でした。

2年生進級時に文理選択をするので、「文系と理系の仕事の違いってなんですか？」という質問も多く出ていました。

地域と連携したキャリア教育の仕組みは、県内でもいくつか事例があります。

今後も様々な取り組みがさらに広がっていくといいなと思っています。

こうした機会があれば、地域の大人の皆さん、ぜひご協力ください！！

昨年に引き続き、公益財団法人かがわ産業支援財団様からも、地域企業様をご紹介いただきました。

お忙しい合間を縫ってご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました！

記事のシェア 20件
いいね！数 68件



本事業は、「SNS発信はわがことの公式のみ。参加者はそれをシェアする形に限る。」という事前約束のもと実施しました。

わがこと公式Facebookに実施報告の記事を投稿したところ、多くの反応がありました。

【 SNSから見る、【参加者】の感想や気づき 】

シェアされた投稿の一部抜粋

初参加させていただきました😊

高校生たちと話していたら、私も一気に35年前に😓
質問されているんなこと思い出しましたっ。

大学までずっと地元。結婚するまで高松に居て、結婚
で県外に行って、また高松に帰ってきて、地域のお仕
事して、今議員。という私の経験は、誰かの参考にな
っただろうか😓

高校1年生って、本当にこれから。道は一つではない
から。いろんな経験をして自分の道を見つけて欲しい
な😊

とにかく高校生とおしゃべりできる💖
夢のような2時間でした😓
終了後同じ部屋にいた人に、
「なんか、めちゃくちゃ盛り上がってましたね！」
と言われ。あっ、お騒がせしましたっ😓

とにかく貴重な経験をさせていただきました
わがことさん
ありがとうございました😊

それにしてもお話していると7分はあっという間！生
徒さんは皆質問をしっかり考えてくれたことが伝わり
ました。
質問に答えることは己に対するフィードバックにもな
ります。働くことや学ぶことを見つめ直す機会になり
ました。声かけてくださった大美さん、ありがとうござ
いました。

去年も参加させてもらって、これから進路を考える高校生
とお話をしたんですが、キラキラした目で「仕事のやりが
いは何ですか？」、「仕事で大変な時どうしますか？」って
聞かれると、自分の仕事のことを振り返りつつも、この子
達が素敵な仕事について楽しい毎日を過ごしていくために
どんなメッセージを伝えられるだろうかって考える。

私は摂食嚥下の認定看護師になれたことで、それまで以上
に看護師って仕事を好きになれたし、たぶん一生看護師と
していると思う。(病院退職したって地域で何歳まででも
看護師できるからね♪)

仕事で大変なことも、泣くことも、たくさんたくさんある
けど、それ以上に患者さんの「美味しい」って顔は、私に
パワーをくれた。

そんな話を一生懸命聞いてくれた高校生みなさん、あり
がとうございました😊

「どうして看護師になったんですか？」に対して、「親の洗
脳」っていう回答しかない私ですが...この仕事が好き♪

どの仕事をやっても大変なのよ。
大変でも楽しさややりがいが多いと、大変でもやっていけ
るのよ。

今日の大人との出会いで、将来素敵な仕事について、楽し
い毎日を過ごして欲しいなあ。
そして、そんな大人になったみんなと地域で出会っていき
たいなあ♪

お声掛け頂き、高校生とお話させて頂きました！
仕事のやりがいって？
高校のときはどんな勉強してた？
高校のうちにやってたら良いことは？
とか、変化球では、
経営のコツは？(私が聞きたいw)とか、
年収はどのくらい必要か？とか、
まあ色々飛んできて面白かったです！
ありがとうございましたー！

高校生と大人たちが入れ替わりながら7分間のトーク
セッションを繰り返す。

様々なジャンルの大人に連続で触れ会話を繰り返す。

きっと、学生さんたちの人生にとって
大きな意味のある1日になったことと思います。
本当に素敵な取り組みでした。

お声掛けいただいたお二人本当にありがとうございました
す！

学生さんたちの未来がどうなるのかは、まだまだ先のお
話ですが、その時が楽しみになるような大人チーム
にとっても刺激溢れる貴重な1日でした！

[メディアへの掲載]

瀬戸内海放送

<https://news.ksb.co.jp/article/16107412>

高松経済新聞社

<https://takamatsu.keizai.biz/headline/1308/>

高松桜井高校ホームページ

<https://www.kagawa-edu.jp/sakrah01/plugin/blogs/show/10/26/2248#frame-26>

他にも、西日本放送が夕方のニュースで取り上げてくださいました。

また、10月29日の四国新聞朝刊にも記事が掲載されました。

04

まとめ

今後の開催に向けて

【 昨年と今年の違い 】

2年目の開催

昨年の開催時は、主催の学校側も協力者である私たち（NPO法人わがことおよび参加者のみなさま）も全てが手探りの状況であり、「生徒にどんなことが伝えられるのか」「そもそも高校1年生の生徒が、大人たちを前に聞きたいと思うように聞けるのか」「せっかく時間を割いて集まってくれた地域のみなさんに失礼がないか」などなど、初めての挑戦ゆえの緊張感や不安があったように思う。今年は2年目の開催となり、生徒側は2025年度の1年生なので、当然今年が初めての参加となるが、協力者側は、3割程度が昨年に続いての参加で、他は初めての参加であった。

昨年の開催の振り返りを踏まえ、学校側からは「理系選択希望の生徒が多いので、理科系の企業さんに、昨年より多く参加してもらいたい」との希望を予め聞いていた。昨年はわがことの関係者やすでに関わりのある方の参加が多く、イメージしやすい職域の方が多くなった。今年は、早くから産業支援財団様に相談し、地域の製造業やものづくりの企業様等、BtoBの商いをされている企業様に多く声をかけ、ご参集いただいた。昨年に引き続きNPOや行政、地域メディアのみなさんにもご協力いただいた。

1セッション 4分→7分へ

昨年の感想に「時間が短かった」という声が生徒側、協力者側双方から多く聞かれたため、「もう少ししっかりと話を聞き、将来のイメージを膨らませてもらう」という目的から、1セッションあたりのトーク時間を4分→7分に延長した。アンケート結果を見ると、特に生徒側から「もう少し時間が長い方が良い」という意見が多かった。この点については、恐らく参加者全員にとってちょうど良い時間の見極めが難しいことが分かる。少数ではあるが、「持て余す時間もあった」との感想もあった。

具体的な文理選択アドバイスへの期待

生徒の関心も多様であり、12セッション全てが自らの興味関心のど真ん中である必要はなく、むしろ不可能である。それでも、多様な働き方や価値観に触れることで昨年同様「自分の価値観や考え方が広がった」との感想が多くあったことは、重要な成果だと言える。一方で「文理選択に活かす具体的なアドバイスが欲しい」傾向が昨年に比べやや強く、物足りなさを感じた生徒も一部いた。

————— [事後アンケートから見る、昨年と今年の違い] —————

2年目の開催

項目	2024年度の主な焦点	2025年度の主な焦点
生徒の学び	キャリアの多様性、人生観の広がり、一般的な社会人アドバイス。	文理選択・大学選びなど直近の進路決定に関する 具体的情報 、挑戦や起業といった積極的なキャリア形成のヒント。
参加者の学び	自身のキャリアや人生の振り返り、自己肯定感の向上、考えの整理。	自身のキャリア再認識に加え、若者のリアルな価値観を理解し、企業経営や組織作りに活かしたいという意識。
主な不満点	時間の短さ（絶対的な課題）、 参加企業の業種の偏り。→改善	時間の短さ（絶対的な課題）、生徒の質問の質の向上への具体的な要望。

両年度の実施を通じて、ネットで何でも情報収集できる時代だからこそその「生の経験」として機能しており、大人のリアルな話を聞くことで「正解は一つじゃない」「遠回りもアリ」だと気づくきっかけになったのではないかと推測されるが、真の答え合わせは数年単位で先になる。一方で、生徒たちが望むように文理選択や大学選びに実用的な具体的情報を多く提供することを目的として最優先するのであれば、手段としてのトーク×トーク×トーク！のあり方の再検討が必要である。

[ま と め]

授業実施の目的

- ✔ 仕事を知り、進路選択(文理選択・学部選択等)の参考にする
- ✔ 多くの大人との対話を通して、コミュニケーション能力の育成を図る
- ✔ 地元企業・地域のことを知り、地域への愛着を持つきっかけにする

今後の改善、再検討点

- ✔ 進路選択に有用な具体的なアドバイスをどこまで重視するか？
- ✔ 対話力の育成を図るために、例えば質問の仕方から事前学習に組み込む必要は？
- ✔ 地域への愛着だけでなく、地域で働くことも含めた選択肢の多様性や、思考の広がりをもつことをどこまで重視するか？

上記以外にも、授業終了後に生徒も参加者も相当な疲労感があることから、タイムスケジュールや参加方法も含め再検討が必要である。1企業から複数で参加し、途中交代で工夫されている企業もあった。

この授業は、学校側が門を開けてくださるからこそ実施できている授業であることも踏まえると、主催側、協力側が持続できる実施体制や予算組みの検討も重要である。